

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	エセックス大学
留学先での所属学部・研究科:	Sociology
留学先での在籍身分:	学士
留学期間:	Full Year(9ヶ月)
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	3年生
帰国日:	2019/6/29
本報告書記入日:	2019/7/20



1. 留学先大学について		
1-1	学年開始月日:	10月 4日
	学年終了月日:	6月 28日
	学期:	① 10月 4日～ 12月 14日
		② 1月 14日～ 3月 22日
	③ 4月 23日～ 6月 28日	
	④ 月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	世界各地から留学生が集まる国際的な大学。人気のある分野は社会科学。
	留学先大学のサポートについて記入ください。	
1-3	語学面でのサポート:	非ネイティブスピーカーの学生が多く在籍していることもあり、語学面のサポートは充実しているように感じた。Talent development centerが無料で単位なしの英語サポートクラス(speaking, writing, exam preparation)を毎週開講している。また、昼休みの時間にも英語サポートのイベントを開催していることもある。
	勉学面でのサポート:	授業は基本的に講義とクラスで構成されている。クラスは少人数なので先生との距離が近く、質問しやすい。先生方に質問をすれば親身になってサポートして下さるので、勉学面で不安があれば積極的に先生に相談に行くのがよい。
	精神面でのサポート:	交換留学を管理しているEssex Aboradという事務では留学やイギリス生活に関する相談があれば面談を予約することができる。また、試験期間はストレス解消のイベントが催されたり、温かい飲み物が支給されたり、サポートがしっかりしていると感じた。
	住居・生活面でのサポート:	大学寮では清掃員の方がいて、キッチン等の共有スペースを清掃してくれていた。
	課外活動のサポート:	留学生でもサークル等の課外活動に参加することは可能。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について		
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	Full yearでの留学生は、入寮が保障されている。大学の寮は寮費が高いが、メインキャンパスに近く便利だと感じた。

3. 生活について		
3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	大学寮の中では、大学の案内に従って登録すれば無料でWi-Fiの使用が可能。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	大学内ではeduroamが使用可能。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	病院に行くことはなかった。日本の食材とは違い、賞味期限以内でも腐りやすい食材があるので注意。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	現地口座は開設しなかった。基本的にデビットカードで生活していた。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO
	支給額(円/月):	8万円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	260000円
	住居費:	(月額) 89361円 × (留学月数) 9ヵ月 = 804249円
	食費:	(月額) 22400円 × (留学月数) 9ヵ月 = 201600円
	保険料:	145320円
	その他:	602140円
	合計(留学期間全体の費用):	2013309円
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	留学先の文化で一番なれるのに苦労したのは言語でした。留学前、イギリス英語になれようとBBCを聞くなどしていましたが、実際にイギリスに行ってみると様々な訛りがあって聞き取るのに苦労しました。大変であった一方、旅行などでいろいろな地方にいてイギリス英語の中でも様々な訛りを聞くことができたのはとても面白かったです。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	イベント等で現地の人々と関わる機会があったが、基本的には大学内の人々と交流していた。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	所属していたソサイエティを通してボランティアに参加した。大学内にボランティアチームがあり、ソサイエティを通さなくても気軽に参加することが可能である。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	大学周辺は基本的に安全であるが、夜間に一人で歩くのはできるだけ避けたい。大学が国際的であり、多国籍な学生が多いからか、外国人への態度は比較的寛容であるように感じた。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ロンドンキャリアフォーラムに参加した
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	地球の歩き方
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	化粧品等
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	異文化理解を深めることができたと思う。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:( ) 点 → 帰国後:( ) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	寮の隣人が騒がしかったこと。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	特記事項なし
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める 留学に行くか迷っている人は是非挑戦すべきであると思う。長期間、外国で生活することは人生でなかなかできるものではないのでとても貴重な経験であると思う。外国語で自分の専門分野を、様々な文化的バックグラウンドを持つ学生と学ぶことはとても刺激的で、研究に対する意識が非常に高めることができる。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。 ・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価) 5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	4
	・全体として留学に係る費用は安かったと思いい、満足しましたか	3
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
	・留学全体の総合的な評価	4

**8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)**

エセックス大学は、非常に国際色豊かな大学です。正規留学生もたくさんいます。非ネイティブスピーカーの学生でも英語のレベルが非常に高く感じました。レベルの高い学生と一緒に授業を受け、交流することは、学習のモチベーションの向上に繋がりました。さらに、異文化交流のイベントも多く開催されているように感じました。ヨーロッパ圏の文化だけでなく、アジアを含む世界の文化が体験できるようなイベントが開かれていました。

さらに大学はColchester(大学のある町)中心部から少し離れていますが、大学内でも十分に生活ができるほどに施設が整っています。図書館は24時間開館しており、パソコンを自由に使える場所もキャンパス内にたくさんあります。郵便局、本屋、銀行、ジム、スーパー等もあります。長期休暇は異なる場合もありますが、スーパーは深夜の営業も行っています。さらに娯楽の面でも施設が整っており、バーやクラブも大学内にあります。映画館や劇場、小さな美術展もあり芸術を楽しむことができます。また、毎週木曜日にマーケットが開かれます。パン、チーズ、CD、レコード、アクセサリーなど幅広いものが売っています。

そして大学は町の中心部から離れているので、周りにあまり高い建物が建っていません。周りには野原が広がっていてとてもきれいな景色が見られます。近くにはPublic Pathもあり、散歩をすることができます。田舎にある大学だからこそ、自然を十分に楽しむことができたと感じます。

そんな自然豊かな大学ですが、ロンドンまでは電車で、約1時間で行く事ができます。Heathrow, Stansted空港まではColchester中心部から高速バスが出ています。なので、ロンドンから離れている土地にしては比較的旅行がしやすいと感じました。

留学中はこのような恵まれた環境で勉強をすることができ、さらに旅行でイギリス各地を回り様々なイギリスの側面を見ることができたと思います。エセックス大学への留学を悩んでいるのであれば、ぜひ挑戦していただきたいなと思います。もし大学の事などで質問があれば遠慮せず連絡してください。



## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先で の単位数	授業での 使用言語	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等の成績評価について アドバイスも含めて教えてください
1	Race, Class and Gender 人種、階級、ジェンダー	Dr Carlos Gigoux	2時間	30	英語	30	講義1時間、セミナー1時間の授業。 readingの課題が毎週出される。reading 課題と授業前に公開されるパワーポで予 習をしていた。復習はオンラインで聞ける 授業の録音等で行った。レポート課題 が各学期末にあり、筆記テストが年度 末にあった。
2	British Society and Culture イギリス社会と文化	Dr Jack McGowan	3時間	30	英語	30	講義2時間、セミナー1時間の授業。 international students向けの授業で、院 生も学部生も混合で受講していた。毎 週readingとビデオ鑑賞での予習が前提 であった。グループでのプレゼンテー ションとレポートが課された。
3	Media, Culture and Society メディア 文化 社会	Dr. James Allen- Robertson	2時間	15	英語	60	講義1時間、セミナー1時間の授業。指 定の教科書があり、その中からreading の課題が毎週出される。reading課題と 授業前に公開されるパワーポで予習をし ていた。復習はオンラインで聞ける授業 の録音等で行った。レポート課題が各 学期末にあり、筆記テストが年度末に あった。
4	The Sociological Imagination 社会学的想像力	Prof Joan Busfield	3時間	15	英語	60	講義1時間、セミナー1時間、アカデミッ クライティングの授業1時間で構成され る。オムニバス形式の講義で、隔週で 先生が替わる。readingの課題が毎週出 される。reading課題と授業前に公開さ れるパワーポで予習をしていた。復習はオ ンラインで聞ける授業の録音等で行っ た。レポート課題が複数回あり、筆記テ ストが年度末にあった。
5							
6							

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的に授業は講義とセミナーで構成されている。講義は大教室で行われ、セミナーは少人数に分かれて行われる。セミナーではグループディスカッションや積極的な発言が求められる。  
 現地学生は日本に比べ積極的な発言を行っているように感じる。  
 成績評価は科目によるが、エッセイなどのCourse Workと試験の成績で評価される。